

草加市立病院 公開・オプトアウト書式

受付番号 令和2年度-19番	
研究課題名	おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査
情報の利用目的、利用方法及び個人情報保護(他の機関へ提供される場合はその方法を含む)	目的: 国産2社のおたふくかぜ単味ワクチン接種後の副反応に関して多数例の調査を行い、おたふくかぜワクチンの定期接種化検討のための資料とすること。 利用方法: 1)1歳以上小学校就学前におたふくかぜワクチンを接種した方の診療情報を、匿名化して日本小児科学会の専用データベースへ入力する。 2)副反応が疑われる症状出現の場合は、改めてご説明し文書による同意を得た上で診療情報と残検体の一部を国立感染症研究所に送付する。 3)収集データは日本小児科学会および国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)研究班で解析され、学術会議等で発表される。 個人情報保護: 個人が特定できる情報を削除して匿名化する。
利用または提供する情報の項目	情報の項目: 年月齢、性別、接種日、ワクチンの種類、接種回数、接種4週間後および8週間後の健康状態、副反応が疑われる症状発現時はその状況、同時接種ワクチンの有無とその種類 試料の項目: 副作用を疑われる場合に診療で得られた検体(髄液、血液、咽頭ぬぐい液、糞便、尿など)の残ったものの一部
対象者及び対象期間	対象: 気管支喘息急性増悪で定点機関/協力機関に入院した20歳未満の児。 対象期間: 2010年4月1日~2024年3月31日
利用の範囲	日本小児科学会および国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)研究班
試料・情報の管理について責任を有する者	草加市立病院 小児科 医長 佐藤 健
問い合わせ先	草加市立病院 小児科 電話番号: 048-946-2200 (代表)
共同臨床研究機関	日本小児科学会、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)研究班
備考	なし